

技術情報カード

No. 19

平成12年11月



●●●●●
技術情報カード No. 19
平成12年11月

徳島県林業総合技術センター

〒770-0045
徳島市南庄町5丁目69
TEL 088-632-4237
FAX 088-632-6447



貴重な樹木を守るために

現在、本県では国の天然記念物として、阿波町の「野神の大センダン」、上板町の「乳保神社のイチョウ」、三加茂町の「加茂の大クス」(特別天然記念物、写真1)、山川町の「船窪のオンツツジ群落」が指定されています。残念ながら「鳴門の根上がりマツ」は最後の1本が枯れてしまい、指定が解除されています。

この他にも県や市町村の保護制度により保存されている樹木も多くありますが(写真2)、保護制度のない樹木にも保存すべき貴重なものが多くみられます。



写真1 国の特別天然記念物
—加茂の大クス(三加茂町)—



写真2 県指定天然記念物
—尾開のクロガネモチ(市場町)—

1 緑の遺産継承対策事業について

本県では、こういった文化的・遺伝的価値の高い樹木を「緑の遺産」として後世へ残すため、平成4年度及び5年度に「緑の遺産継承対策事業」で、県内に分布する巨樹・古木等227本(群落を含む)の形状、所有・管理形態、樹勢診断等の調査を行っています。

調査対象木の選定基準としては、

- ①巨樹、名木、古木、並木、社叢
- ②稀有の森林植物相
- ③代表的高山植物相
- ④著しい植物分布の限界地

⑤特に貴重な植物

とし、形状的にはイチ
ョウ、クスノキ、スギで
は地上から130cmの位置
で幹周が6 m以上、その
他の樹種については幹周
が3 m以上のものを調査
の対象としています。

調査した樹木を主な樹
種別に示します(表1)。
クスノキが最も多く、次
いでイチョウ、スギが多
い結果となっています。

表1 調査木の樹種別一覧

樹種	本数
クスノキ	50
イチョウ	25
スギ	25
スギ林	5
ケヤキ	4
トチノキ	4
ムクノキ	4
ヤマザクラ	4
アカガシ	3
イチイガシ	3
カヤ	3
クロガネモチ	3
タブノキ	3
ナギ	3
その他67樹種	88
合計	227

しかし、これら人為的なものは当然、予防や改善
することが可能です。例えば、土壌の堅密化により
衰退の進んだ樹木でも、土壌改良等の適切な改善措
置がされれば、必ず樹勢を回復してきます。

自然的被害

古木等は長い年月の間に必然的に気象害といった
自然力による被害を受ける機会も多くなります。ま
た、周りの高さより一際高い高木になると、落雷を
受けたり、風害を直接受けることにより、物理的に
損傷を受けています。さらに、それらの損傷部から
腐朽が始まり大きな衰退につながっている事例が多
く見受けられます。

3 適正な管理の重要性

樹木の衰退の中でも最も危険なものは、樹木内部
の腐朽です。樹木の内部の腐朽は外見だけでは目立

たないことがあるた
め、台風時のような
強風で突然大枝や幹
が折れ落ちるような
ことがあります。こ
れらが大きな被害に
つながらぬよう、普
段から樹木診断を心
掛け、衰退や枯損・
腐朽箇所が見られた
なら、適切な処置を
早期に施すような管
理方法をとる必要が
あります。(写真4)



写真4 樹木の外科治療
(空洞化した部分にウレタンを充填)

4 保存方法の検討について

林業総合技術センターでは、平成10年度から14年
度までの5カ年で、これら227本の巨樹・古木の再
調査を行い、保存状況を調査するとともに、より有
効な保存方法を検討することとしています。

何百年と生きてきた樹木を私たちの世代で枯死さ
せるのは、大変心苦しく残念な限りです。貴重な樹
木を未来へと継承していくために、積極的な保護・
管理を行っていききたいものです。

◆内容に関するお問い合わせ先

徳島県林業総合技術センター 緑化・特産科 島村雄三
TEL 088-632-4237 FAX 088-632-6447

2 主な調査結果について

所有形態

調査木の所有形態は神社や寺所有のものが全体の
67%を占めており、これに学校等の公的機関による所有
を加えると約86%が、公的な所有形態となっています。

樹勢診断

調査木の樹勢診断の結果では、正常と判断された
ものは全体のうち12%程度にすぎず、やや衰退が
54%、明らかに衰退がみられたものは34%に達して
いました。すなわち、ほとんどの調査木で何らかの
衰退や異常が見られています。

衰退原因について

それでは、衰退の主な原因は何なのでしょう？

人為的被害

調査木の多くが神社や寺、学校の所有であること
からも、人や車の進入が多く、樹木の根元付近の表
層土壌は踏み固めにより堅密化しているケースが多
く見受けられます。堅密な土壌は、透水性、保水性、
通気性が悪く、樹木の健全な成長を妨げます。また、
この他根元付近にコンクリート構造物、建物、舗装
などが設置され、衰退の原因になっているものも多
くみられます。(写真3)



写真3 建物とアスファルト道路に囲まれた根元周り